

11月23日 志位委員長が小倉・博多で訴え

その日に8人入党!

演説を
力に

統一地方選勝利、党づくりの遅れ
抜本打開へ
党員拡大
など「特別期間」総達成を

2600人が聞いた



日本共産党の志位和夫委員長は23日、小倉・博多駅前で行った演説で、小倉で1200人、博多で1100人が聞いたのをはじめ、ライブ配信で300人と合計2600人が視聴しました。共産党への入党を決意された方は、この日だけでも県内で8人となりました。

志位氏は、県議選・福岡市議選をはじめ統一地方選挙での日本共産党の躍進を呼びかけ、①県政での党の値打ち、②国政と党の役割、③アジア政党政国際会議での党の活躍について訴えました。

田村貴昭衆院議員の司会で、小倉駅前では江守・脱原発ネットワーク九州代表、博多駅前では星乃治彦・市民連合ふくおか共同代表が応援弁士として熱弁をふるい、党の県議・福岡市議予定候補が必勝の訴えを行いました。

話を聞いた人からは「共産党が県政を動かしていることが具体的にわかった」「元気が出た。まわりにも知らせたい」などの感想が寄せられています。また、17万9601円の募金が集まりました。ありがとうございました。